

せいせい
三つ星
レポート



“キラリ”と輝く経営事例

Part
2

ヘアードエステサロン トリム
Hair & Esthe Salon TRIM

経営者：岩間 恵美 氏

創業：昭和49年

(平成29年に父親から事業引継ぎ)

営業所：長野県松本市平田東3-5-24

従業員：1名

電話：0263-57-2024

MATSUMOTO
-SHI



女性からの予約が途切れない理容室



国宝・松本城を有する松本市。「Hair & Esthe Salon TRIM」(以下、「TRIM」)は、その中心部から車で15分ほど離れた郊外で40年以上続く、地域に根差した理容室です。清掃が行き届いた店内は、観葉植物やかわいい雑貨などがセンス良く飾られ、落ち着いた雰囲気の本GMが流れています。

経営者の岩間恵美さんは、東京都港区の理容室に勤務していた時、肌に優しいシェービング技術を学び、松本市に戻った後も、創業者である父親と一緒にお店を運営しながら、30年以上その技術を活かした質の高いレディースシェービングが特に好評で、「TRIM」には女性からの予約が月80件以上も入るそうです。

女性客を惹きつけるワケ



現在では、女性客が全体の7割を占める「TRIM」ですが、以前は男性客が中心の理容室でした。そんな「T



右：岩間さんが行うお肌に優しいレディースシェービング
 左上：女性がリラックスできるように工夫された店内
 左下：明るく入りやすい店舗外観

「RIM」に女性客が来店するようになったのは15年前のこと。当時、客層の高齢化や美容室に行く男性が増えた影響などで、顧客数が減少傾向にありました。そこで、女性の新規顧客開拓に向け、レディースシェービングのサービスを導入したそうです。

しかし、当初は女性客の来店が月2〜3人とどまり、大きな成果は得られませんでした。岩間さんは当時を振り返り、「女性からの需要はあると感

じましたが、サービスを始めただけでは期待していたような集客はできませんでした。そこで、サービス自体とその魅力を多くの方に知ってもらう取り組みと「男性」のイメージが強い理容室に女性客が来店しやすい工夫を考えました」と話します。

具体的には、まずホームページにサービスの内容や価格などをわかりやすく掲載し、お店の

ブログでもレディースシェービングの効果やキャンペーン情報などをこまめに発信しました。つぎに、男性客に対し「奥様にぜひ」とチラシを配るなど地道なPRを行い、少しずつサービスの認知度を上げていきました。

また、店内を改装し、パーテーションとカーテンで仕切られた個室のような空間で女性向けサービスを受けられる環境を整備。それと同時に完全予約制を導

女性を惹きつける理容室

～リピーター続出!! お肌に優しいレディースシェービング～

入し、来店客同士が顔を合わせられる機会を極力減らすなど、女性客がリラックスして来店できるように、お店の内装からオペレーションに至るまで幅広く見直しました。

こうした取り組みが実を結び、新規の女性客を増やしていった「TRIM」。リピート利用を促すための割引や特典付与などは行っていないにもかかわらず、その女性客の多くがリピーターとなるそうです。このことについて、日頃心掛けていることを岩間さんに尋ねたところ、「女性のお客様だけに限ったことではありませんが、お客様をお迎えする準備をしっかりするように心掛けています。また、使用する道具などの衛生管理とお客様にお会いする際の身だしなみや接遇などには特に気をつけています。基本的なことですが、お客様に『また利用したい』と思っただけだかためには、とても大切なことだと思います」と答えてくれました。岩間さんの高いプロ意識とおもて

なしの心も、女性客を惹きつける要因となっているようです。

レディースシェービングの魅力を発信

岩間さんは、レディースシェービングを広めるため、長野県理容生活衛生同業組合と連携して、理容師向けの講習会を全国各地で開催しています。

この講習会について、岩間さんは、「女性はお肌の調子でその日の気分が大きく変わります。お肌の美容に効果的なレディースシェービングの魅力を、一人でも多くの女性に知っていただきたい。そのための取り組みの一つとして、講習会の講師をしています。レディースシェービングを提供するお店が増えれば、サービス自体の認知度も高くなり、新規に利用したいと思う女性も増えてくると思います。理容室が多くの女性に必要としていただけよう、同じ理容という仕事に携わる組合の皆様と共に取り組んでいきたいです。そのために、自分の経験がお役に立てば嬉しいです」と笑顔で話してくれました。

岩間さんのレディースシェービングの魅力を発信する取り組みは、これからも続いていきます。